

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1114	住民主体の人権教育推進事業	01	一般会計		
		10	教育費		
38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	05	社会教育費		
		08	教育集会所費		
		102	教育集会所事業経費		
担当課名	教育委員会 八幡町教育集会所		細目	05	住民主体の人権教育推進事業
作成者氏名	安永 幸二	連絡先	23-3157		細々目

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地域住民と行政		人権問題が、住民一人ひとりのものとなって人権意識が、根付いていく。
本年度事業内容	識字教室の実施、人権講演会及び教育講演会の実施	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	
	根拠法令・要綱等	伊賀市集会所条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	488	438	438
委託料			
報償費	370	360	360
その他	118	78	78
合計(A+B)	3,368	3,318	3,318
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	244	125	125
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,124	3,193	3,193
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
識字教室	回	49	49	49			
人権講演会	回	1	1	1			
教育講演会	回	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
識字教室への延参加者数	行事の必要性の指標として参加者数とした	人	156 目標 ( )	160	160
人権・教育講演会への参加者数	一定の枠を設け取り組みを行う	人	211 目標 ( )	220	220

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

教室や講演会の実施内容等に工夫を凝らしながら、マンネリズムを打破して興味や関心を惹いていきたい。
--

評価	必要性	4	識字教室については、参加者数こそ少ないが出席率は非常に高い。これは、必要に迫られての状況を示していると言えるので、引き続きこの講座は開設をしていきたい。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		